

岐大通2014

2014 J.League Division2

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

9/14号

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：

ささたく&吉田鑄造

第31節 コンサドーレ札幌 戦

9/14 19:00 @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest : コンサドーレ札幌 2013 J2 20勝4分18敗 勝ち点64:第8位

母体は神奈川県川崎市の「東芝堀川町工場サッカー部」で、1977年から開始の「第1回地域リーグ決勝大会」でJSL(日本サッカーリーグ)に昇格、以後は「東芝」として日本リーグから落ちることはなかった。Jリーグには参加しなかったものの、1996年に北海道に移転して「コンサドーレ札幌」となる。1998年にJリーグ昇格も、その後4度の降格(3度の昇格)を経験する。(吉田鑄造)

夏休み最後の一戦、そして(シーズンを3つに分けるとすると)終盤戦最初の試合でもある8/31 ホーム東京V戦を、3-0と快勝することができたFC岐阜。この勢いで連勝を目指し、続く9/6にはアウェイ・富山の地へ乗り込んだが、0-0の引き分けに終わってしまった。現在最下位の富山が相手だったが、ラモス監督が「サポーターに対して失礼な内容だった」と言うほどの悪い内容だった。やはりシーズン終盤戦は、下位の対戦相手でも楽には勝たせてくれない(それが残留争いをしているようなチームであれば尚更だというのは、2年間過酷な残留争いをしたFC岐阜サポーターの僕ら自身が一番判っているはずだ)。チームの反省材料は数多くあるが、(勝ち点2という授業料を払って)改めて肝に銘じることが出来たこと、また、そのような状況でもアウェイで勝ち点1を持ち帰ることが出来たことを、前向きに捉えて次の試合に進みたい。

この2試合の結果、勝ち点は4積み上げたものの、FC岐阜の順位は1つ後退して13位となってしまった。しかし、チーム目標である10位(現在は山形)との勝ち点差は2となり、またプレーオフ圏内となる6位(現在は大分)との勝ち点差も5と、それぞれ勝ち点1ずつ縮めている。一方で、14位(栃木)との勝ち点差は3と、わずかではあるが拮据している。つまり、これまで大混戦だった6位から18位のJ2の順位争いが、勝ち点40前後を境に、その差が少し開き始めているということだ。FC岐阜は、その勝ち点差が開き始めた“上位グループ”に何とか喰らいついている状況だ。これからは厳しい戦いは続くが、この順位争いに喰らいつき、そして少しでも勝ち点を積み上げ、ひとつでも順位を上げるために、1試合ごとに全力全霊で戦うしかない。

さて、今節の対戦相手は現在12位のコンサドーレ札幌。札幌は勝ち点差1での上位なので、この試合で勝てば確実に順位が上がる。しかし、(どの対戦相手もそうだが)そう簡単に勝てる相手ではない。特に、札幌との通算対戦成績は1勝1分8敗、8得点23失点と圧倒的に分が悪い。ホーム戦でも1勝4敗、6得点12失点という成績だ。2010年シーズン第5節・4/4に3-0で勝利して以来、6戦して未勝利1分5敗。前回対戦した6/28のアウェイ戦でも、2点差を追いついたものの、後半アディショナルタイムに決勝点を奪われ、2-3で悔しい敗戦を喫している。今節は何としても、これまでのリベンジを果たして快勝といきたいところだ。

ここまで札幌は4連敗などと結果が出ずに苦しんでいたが、8/28に財前恵一監督を解任し、愛媛FCで指揮を執った(2009~2012年)経験もあるイヴィッツァ・バルバリッチ氏に交替することを決断し、以降は2連勝、岐阜には3連勝を目指して乗り込んでくる。ただし、この連勝は名塚善寛コーチが暫定的に指揮を執ったもので、バルバリッチ監督自身の初采配はこの岐阜戦からとなる。そう言った意味では、選手起用や戦術については(ある程度これまでのデータも参考にはなるが)未知数の部分も多い。初采配の不安定さという点では岐阜が有利だろうが、札幌はこちらを研究しているものの、こちらは様々な場合を想定しなくてはならない、という面では不利な戦いになるだろう。

札幌の要注意選手は、まずは6得点でチーム内得点王の#39FW都倉賢だろう。ここ2試合で3得点と結果を出して調子を上げてきているので、この長身FWを岐阜の守備陣がしっかり押さえ切ることが重要だ。また札幌の#11MF前田俊介と岐阜の#8宮沢正史は大分で共に戦った間柄、中盤でのマッチアップには注目したいし、宮沢選手がこれを制することを期待したい。札幌の攻撃の主力である#13内村圭宏と#44小野伸二は負傷離脱中との情報もあるが、両選手ともピッチに出れば非常に危険な選手だ。一方で、これまで札幌の守備の柱を務めている#23CB奈良竜樹が累積警告で出場停止なので、岐阜の攻撃陣は必ずやゴールを決めて欲しい。

札幌は監督交代という“劇薬”でチームに、そして選手に刺激を与えてきている。一方、我らがFC岐阜も『ぎふJ1チャレンジ!』活動を始めている。岐阜県内の注目を集める中、ホーム戦で不甲斐ない試合をする訳には絶対にかかない。勝ちたい気持ちが最後まで強い方が勝つ、そういう激しく厳しい試合がシーズン終盤戦だ。僕らサポーターも、スタジアムが一体となって、岐阜の選手たちを後押しする声援を最後まで送って、そして最後は勝利の歓声を、万歳四唱をしようじゃないか。(ささたく)

2014J2

■順位表■第30節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	湘南	77p	+48	62	14	H●
2	松本	62p	+24	49	25	A●
3	磐田	52p	+13	51	38	H●
4	北九州	49p	+2	36	34	H△
5	岡山	48p	+6	35	29	A● H△
6	大分	45p	-6	34	40	A●
7	福岡	44p	+4	42	38	H● A●
8	千葉	44p	+4	36	32	H△
9	横浜FC	43p	+6	33	27	A○ H●
10	山形	42p	+7	35	28	A●
11	京都	42p	+3	44	41	H○
12	札幌	41p	+2	34	32	A●
13	岐阜	40p	+2	44	42	---
14	栃木	37p	-6	37	43	H●
15	長崎	36p	+1	34	33	H△ A○
16	熊本	35p	-11	29	40	A○
17	水戸	34p	0	28	28	A●
18	愛媛	33p	0	37	37	A△ H○
19	群馬	31p	-13	29	42	H○ A△
20	東京V	27p	-17	22	39	A○ H○
21	讃岐	23p	-29	28	57	H○ A○
22	富山	11p	-40	16	56	H○ A△

次回HomeGame

第33節 ロアッソ熊本戦

9/23(火・祝) 13:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

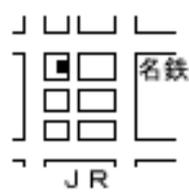
心の花が咲く..

何も無い店だけど...

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は

JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜(定休日が変わりました!)

投稿募集!!

gidaidohri@hotmail.co.jp

【第29節】岐阜3-0東京V

●いやー、どうなることかと思っただけ、試合が終わってみれば3-0の完勝！勝ちつぶり（得点の時間帯）とかを考えたら、3/9の第2節・富山戦以来ぐらいの勝ち方じゃないかな？と個人的には思いました、はい。夏休み最後の試合で、しかも加茂農林高を舞台としたアニメ「のうりん」とのコラボやら何やら、イベントが盛りだくさんの一日（だって、試合開始6時間前からイベントが始まるのって、僕の記憶には無いんですけど（笑））の最後、最も大事なイベントである試合の内容がコケたらどうしよう…と、こういう大事な試合でコケてる経験が多いような（苦笑）気がしているので、実は少し心配してたんですが、いやいや勝って本当に良かった。噂では、試合終了の笛と同時に、恩田社長が会心のガッツポーズを決めたとか…（笑）。

スタメンを見た時には「え、#15ヘニキがCB？」って少し驚いたんだけど、試合の経過と共に、納得の采配。ヴェルディには若くて足の速い選手が多いんで、そこを防ぐためにDF陣はフィジカルで1対1で負けないことに重点を置いたんだなーと。最近では3バックが多かった（と思う）けど、システムも4-4-2に戻して、相手選手とマッチアップさせて、まずは1対1の場面で負けないことを重要視した戦術がハマってたと思う。結局、得点は3点だったけど、惜しいシュートが何度かあったし。そういう意味では、#24難波選手に1点は決めて欲しかったかなー、次に期待しますよ。そして#27太田圭輔選手、移籍後初ゴール（しかもリーグ戦だと2008年ぶり？）おめでとう！そして#9ナザリト選手、計14ゴール目そして得点ランキング4位、おめでとう！このまま行けば、チーム年間最多得点（2009年の16得点）を更新できるんじゃないかな？そしてそして、#6高地系治選手、通算50ゴール、本当におめでとうございます！！っていうか、美しいゴラツゴちそうさまでした！！（笑）「シュートコースってのはね、無理矢理こじ開けなくても、ほら、こうやって相手DFにフェイントかければ開くんだよ」と言わんばかりの、切り返してからコースを狙い澄ましてのシュート。ベストゴールにノミネートされるのも納得、経験値の違いを魅せつけられたゴールでした。

経験値の違いという意味では、（他人の心配してる余裕はない気もするけど）東京ヴェルディは大丈夫か…と思わざるを得なかった。定評のあるユースを持ち、そのユース出身の選手が多いから、速いし上手い、だから何度か決定的チャンスを作ってたんだけど、最後で得点できない（岐阜の選手がゴールを許さない）ところに、経験値の違いを感じた気がした。GKも怪我人続出で初先発の19歳だったというし…」発足当時の“オリジナル10”、初代王者で日本最強を誇っていた名門中の名門クラブ、そして我らがラモス監督が（FC岐阜の次に）愛しているクラブが、こんな順位に沈んでいるとは…僕らの感覚だと讃岐の方が調子上げてる気がするから、こりゃ下手するとヴェルディが入れ替え戦あるで…いやいや昨年までのことを考えれば全く他人ごとじゃないんですけど、それでも諸行無常を感じてしまいます、はい。

まあ反省点もあるけど、7,178人の観客の前で完勝できたことは非常に大きい。この勢いで終盤戦、さらに勝ち星を積み上げて欲しい。そのため今後も一生懸命応援しますよ！（ささたく）

●「ボクたち」リーグだけど、キミらは？」と言われていたようだった。初めて彼らと対戦した長良川での試合後に、知人がそうブログに記していたのを未だに覚えている。2009年の話だから、あれからもう6年になる。あの時見つけられた彼我の差と、今夜の試合を重ね合わせてみて、しみじみと感慨に耽った後で「大変だな、ヤスも。」とアチラの監督に同情の念を抱いてしまった自分自身に対し、昨季までとちょっと変わっただけなのにズイブン上から目線が出来るようになって

たもんだと苦笑を禁じ得なかった東京V戦。でも、ココは「東京の方がいいサッカーしてた時間もあった。」「ウチは個の力で決めただけ。」そう言わなきゃイケナイ場面かもね（爆）ま、コレはお約束のポケゆえ、カルく流していただければありがたい。

それでも、今季のここまでを振り返っても、同じ長良川で同じスコアだった富山戦とまったく同じような内容。正直に言って、ドローの群馬戦はもとより、長崎戦や愛媛戦の方がはるかにキツかった。もちろん、3チームとも東京より順位が上なんだからあたりまえと言えばあたりまえの話ではある。ただ、今季の東京は磐田や京都に勝ったこともあるはず。ドローだった？5月の国立でも辛勝だっただけに警戒していたのだが、その反動で多少拍子抜けしたのかもしれない。まあ、考えてみれば、昨季のウチが神戸に勝ったのと同じかな。要は、下位の相手にキッチリ勝ち点3をゲットしただけのこと。当然、他のクラブをどうこう言える立場でもなく、少しでも上の順位、今季の目標を達成するために、これからも今夜のような試合ができるようにしてほしい。早めの先制点に追加点、そしてダメ押し。少なくとも、得点後即の失点はカンベンね。と言いつつも1-0で勝つ試合もたまらないんだよね。とにかく、アツイ試合と勝利を期待しています！

それからもう一つ。好みはあるだろうが、今日のアニメ「のうりん」とのコラボは楽しかった。ゴール決めた時のビジョンに映し出された画像も、作品に登場するキャラのスタジアムD Jもよかった。「都会のチームに負けとれんやら！」は秀逸。ゴール後に画像が出てくるのに気づいたのは2点目の時なんで一回見逃したのが残念（笑）聞くとところによると、原作者の方がバクスタのパモス・ゾーンでアツク声援を送っておられたらしい。それにしても、岐阜サポのゲーフラ職人さん達には脱帽して最敬礼。あえて、作品を撮らず、まぶたの裏に焼き付けたつもり。公式サイトにアップされるんじゃないかな？楽しみにしていよう。

あ、もうひとつ言いたい。今日の試合って、ヘニキは何人いたの？とて、一人分のパフォーマンスには見えなかったよ。（ぐん）

●終わってみれば相手にはほとんどチャンスらしいチャンスがなかった。前半にヨシカツが飛び出すタイミングを間違えて無人のゴールに転がっていったシュートが枠を外れたくらい。だから、これ以上ない快勝！なんだけど、ぼくは『嬉しさ9割』だった。

残りの1割は『寂しさ』。そこにいた相手は、ぼくの知ってるヴェルディではなかった。“最後の国立公式戦”で1-0で勝ったときのヴェルディですらなかった。中盤もなく、縦1本で走らせるしか攻撃が作れないヴェルディ。ウチの秀人や正紀がそんなヴェルディの単騎の槍に走り負けることは何度かあったけど、「残念そこはヘニキ」とばかりに掃除機に徹するヘニキ。そしてこの日はそんなヘニキがバランス崩しての攻撃参加なんかしなくてもいいくらいに、太田圭輔に自由にやらせてくれた。3得点はある意味“当然”の結果であり、嬉しかったのはクリーンシート（無失点試合。野球では『完封』とか『シャットアウト』とか言います）で終わらせたこと。後半のアディショナルタイムに入った時、気持よくアイーダを歌うことが出来た。

岐阜が「これだけのサッカーが出来るようになり」、そしてヴェルディが「これだけのサッカーしか出来なくなった」。それゆえの3-0。順位相応の結果だった。（吉田鑄造）

【第30節】富山 0-0 岐阜

●ゲーム内容やボールポゼッションはウチが上回っていたけれど、相手は失うものがない状態で、必死に向かってきていた。それは富山サポーターも同じで、試合前のピッチ内練習で一切応援をせず、ダンマクも掲出されず、これって応援拒否？とかって思ったら、選手入場に合わせて一斉にダンマクを掲出するとか、またコアゾーンの位置も普段よりメインスタンドよりに構えてたりとか、この一戦に懸けるものは並々ならぬものがあったんだと思います。

そんな状況の中での試合だったから中途半端な位置でボール奪われて、ショートカウンター喰らって失点ってのが一番怖かったし、実際ゲーム中でもそういうシーンがあったけれども、能活のファインセーブで救われた。そんな状況であったので、この勝ち点1は前向きに捉えたいなと思います。益山も1試合まるまる休ませることができたし。

今回はお寿司は行かなかったけれど、富山は近い Away だしお寿司の他にも美味しいもの多いから何とか 2 に残ってほしいなと思っているのですが（讃岐が勝ったので、勝ち点差開いて厳しい状況には変わりないけれど）。（岐阜の誇り）

●とにかくカターレは『やること』をはっきりさせて強い気持ちで臨んできた。前半5分で岐阜にCKが2回あったのだけど、どちらもカターレは全員が戻って守備をした。「とにかく失点しない」。そして前線の2枚、宮吉と苔口で勝負に出る。前節のヴェルディと違って後ろがしっかりしてるんで、ウチはパスまわして隙を伺う展開。そこでミスが出るとショートカウンターを喰らう。実際、ヨシカツに何度救われたことか。相手にしっかりと中を固められてるから、パスだけでは崩せない。となるとドリブル突破とかミドルぶっ放すとか策を変えないといけないのだけど、後半アタマから入ったクレイトンまではパスが入るようになったけど、ドリブルで仕掛けるようで最後には必ずパスを選択してしまう。徳島時代にケガしたのがまだ怖いのかな……。あと、右サイドの森勇介の攻め上がりも自重気味。それでも、太田とのコンビが熟成の域に達しつつあるツカサを投入しなかったところを見ると、この日の監督はツカサを休ませたかったのかもしれない。

スコアレスで終了した時、ピッチに倒れたのはカターレの選手たち。柔道のように「旗の上げ下げ」をやったら3-0でカターレの勝ちだろう。一方の岐阜は、決定的チャンスもほとんどなく、スコアレスも納得の内容。まさに「むずかしい」試合になった。でも、町田と残留争いをしていた一昨年、鳥取と残留争いをしていた昨年、ぼくら岐阜もこの日のカターレのように中位の相手に必死に食らいついて勝ち点をゲットした試合、なかっただろうか？だからこそ、アウェー・富山まで足を運んだゴール裏サポーターからはブーイングも出なかったのだろう。不甲斐ない内容ではなかった。結果が出なかっただけだ。（吉田铸造）

●気がついたら、監督がその場に姿を現していた。試合後恒例のサポへの挨拶の場面。今季初めての出来事だった。カリオカはそういう挨拶はしない人だと思っていたので、姿を目の当たりにした時はかなりビックリした。実際、試合後のインタビューで「普段ならそういうことをしない。」と答えていた。つまり、そういうことだ。試合内容が描いていた絵とかかけ離れていたということだろう。

有り体に言うと、試合の入りは前節同様悪くなかった。シュートこそ打てなかったもののボールを支配できていたし、少なくとも90分の中で1点は取れるだろう、と思えた。だが、それもつかの間。セット・プレーのこぼれ球からあわやのシュートを打たれると、その後は富山に押されっぱなし。いや、ポゼッションは相変わらずウチなんだが、枠内シュートは富山だけ。コチラはチャンスは作れるものの決定機までには至らない場面ばかり。しかも、枠内シュートってあったっけ？後半のナザリトのFKだけだったような気がする。

もちろん、最下位相手だしカンタンに勝てるだろうなどと楽観していたワケはないだろうし、逆に残留争いをしているクラブの必死さは十二分に承知していたはず。難しい試合になると予想していた方も少なからずいただろうし、実際そういう試合になった。そんな試合で、勝ち点1を積み上げられたのは幸運だったというべきか。実際、富山のシュートミスに助けられたところもある。苔口は相変わらず早くて怖かったが、ああいうシュートを決められないところが現在の富山を証明しているのかもしれない。そして、なぜか白崎がベンチにも入っていなかったことも結果に影響があったかもしれない。あと、司がスタメンじゃなかったことも関係しているかも。用兵を含めての反省から、監督はあえてゴール裏に足を運んだのかもしれない。

この難しい試合でのマンオブザマッチは、何と言ってもキャプテンだろう。どう見ても3点は防いでくれた。もし、彼が得点を決めていたら「サッカーは一人でも勝てる。」という格言ができていたかもしれない。まさに獅子奮迅の活躍だった。ありがとう！

しかし、だ。この時点の勝ち点がここ二年のシーズン終了時を上回っているなんて……。この気持ちを、どう表現しているかわからないよ（苦笑）（ぐん）

【ユース】G1 リーグ、再開！

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は今年参戦しているG1リーグの試合が8月末に再開されました。まずは8/30に第10節の帝京大可見Bチームとの対戦が有り、4対1で勝利しました（パチパチパチ）。そして9/6には岐阜フットボールセンターにて第11節の大垣工との対戦が有り、観戦に行ってきました。

試合は大垣工ボールでKO。開始早々にペナルティエリア内での交差プレーでFC岐阜ユースがPKを得て、しっかり決めて先制します。FC岐阜ユースは高い位置からの守備で効果的に相手のボールを奪取し、ショートカウンターで何度も大垣工のゴールに迫ります。対する大垣工も相手のDFラインの裏を狙うパスで何度も攻め、双方早い攻守の切り替えで試合が展開していきます。そして前半の内に双方1点ずつ得点して2対1でHTを迎えました。

後半はややFC岐阜ユースのペースで試合が進んでいきますが、ボールがバーを叩いたり、大垣工の守備に阻まれ得点できず、ジリジリする展開が続きます。そしてこのまま終了するか？と思われたATに大垣工のFKからの同点弾を許してしまい、そのまま2対2のまま非常にもったいない形でのドローとなり、選手達も悔しそうな表情を見せていました。

第11節終了時点でFC岐阜ユースは9勝1分1敗の勝点28でG1リーグの首位をキープしていますが、2位の岐阜工も勝点26で迫ってきています。第12節は昨日13日（土）に予定されていて、FC岐阜ユースは東濃農業と対戦している筈ですが、結果はどうだったのでしょうか？吉報が届いている事を願っています。

この後の試合予定は9/20（土）に大垣市南公園にて第13節の土岐商業戦、9/23（火・祝日）に各務原スポーツ広場で第14節の各務原戦が予定されています。強豪校との対戦が続きますが、一戦ずつ力を発揮して勝利を目指して貰いたいです。そして毎年秋に開催されるJユースカップについては試合日程などは（9/9現在）まだ発表されていません。発表され次第こちらで共有させていただきます。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！
※試合会場・時間は変更の可能性があります。必ず岐阜県サッカー協会の公式サイトでご確認下さい。（シユナ）

